

## 警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和元年5月15日 午後4時00分 から 令和元年5月15日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課係長、地域課長、黒木警部交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長、事務局
議 事 概 要		
<p><b>【署長挨拶（要旨）】</b>                  本会は元号が変わり令和元年第一回目の八女警察署協議会となるが、我々警察は、従前どおり治安維持に向け、しっかり取り組んでいきたいと考えている。                  本日は、委員の方々に委嘱状を交付し、新しく八女警察署協議会会長を選任する予定である。                  春の人事異動に伴い当署幹部の大部分が入れ替わっているが、八女市、広川町の安全安心の確保のために頑張る所存であるため、警察に対する活発な意見・要望をお願いするとともに、引き続き警察活動に対する協力をお願いする。</p> <p><b>【委員委嘱式】</b>                  委員9名に委嘱状交付（1名欠席）</p> <p><b>【八女警察署幹部及び委員自己紹介】</b></p> <p><b>【会長の選任・会長挨拶（要旨）】</b>                  この度、協議会委員からの推薦を受けて、八女警察署協議会会長に就任することとなった。会長任期の2年間、地域と警察の架け橋となるべく、責任を持って務めたいと思うので協力をお願いする。</p> <p><b>【管内情勢報告】</b>                  1 福岡県内及び八女警察署管内の犯罪発生状況                  (1) 刑法犯認知・検挙状況（県内・管内、平成30年中）                  (2) 刑法犯認知件数（平成31年1月から4月）                  (3) 街頭犯罪認知件数（平成31年1月から4月）</p>		

議 事 概 要

2 交通事故情勢等

(1) 人身交通事故発生状況

ア 飲酒運転による事故事例

イ 死亡事故事例

(2) 交通事故の特徴的傾向

(3) 春の交通安全県民運動における取組

【質疑応答】

- 委員から「刑法犯認知・検挙状況の中で、検挙件数が多く、検挙人数が少なくなっているが、この数の差はどういうことか。」旨の質疑があり、署長から「逮捕した犯罪事実以外にも犯罪を犯していたことが判明した場合、統計の結果は、検挙人数よりも検挙件数が多くなる。」旨の回答があった。
- 委員から「最近の車上ねらいの発生状況を教えてほしい。」旨の質疑があり、刑事課長から「最近では、2日前に発生した。ここ数ヶ月で数十件の発生があり、夜間から早朝にかけ、駐車中の車両の窓ガラスを割って車内からバッグ等を窃取する手口である。連続発生していることから、被疑者の検挙が急務であるが、駐車中の車内の見えるところに荷物を置いたままにしないよう注意してほしい。」旨の回答があった。
- 委員から「八女市で発生した高齢者による交通死亡事故に関し、八女市として、交通事故抑止のための対策を執ることができないか現場確認を行った。八女市は、高齢者が運転免許証を自主返納した場合のタクシーチケット配付やシニアドライビングスクールを開催するなどの施策を行っているが、引き続き警察と協力して、特に高齢者による交通事故抑止の取組を行っていきたい。」旨の意見があった、交通課長から「高齢者による交通事故は、全国的に多く、事故抑止のため、各機関と協力の下、シニアドライビングスクールを開催するなど、各種施策を行いたいと考えている。」旨の回答があった。
- 委員から「私は、今年、物件交通事故の当事者になった。交通事故の相手は、高齢者で、私が危険を知らせるためにクラクションを鳴らしたが、相手は、「聞こえなかった。」と申し立てた。高齢者による交通事故が全国的に問題となっているが、私自身も身体的に衰えてくることを考えると、時期をみて運転免許証の返納を検討しなければならないと感じている。生活のために車が必要な人もいるため、自治体等による支援が必要だと思う。」旨の意見が出され、交通課長から「運転免許証の返納は、家族が心配して、返納をさせたいと申し立てても、本人の意思表示がなければ、返納を受け付けることはできない。高齢者の交通事故防止のため、引き続き自治体と連携しながら対応する必要がある。」旨の回答があった。
- 委員から「飲酒運転の検挙状況を教えてほしい。」旨の質疑があり、交通課長から「昨年の福岡県内における飲酒運転検挙件数は、約1,400件で、当署管内では23件の飲酒運転被疑者を検挙している。現在の当署管内の飲酒運転検挙件数は、10件を超えており、飲酒運転の発生状況は、依然として厳しい状況にある。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「あおり運転の発生状況を教えてほしい。」旨の質疑があり、交通課長から、「車間距離の不保持や、急ブレーキ、蛇行運転等の異常運転行為に対し、県内全域であおり運転等として、110通報を受けている。今年に入り、当署管内において、あおり運転行為を捉えての検挙はないが、過去の経験では、危険な運転行為をしていた者を発見し、職務質問を行ったところ、飲酒運転であることが判明し検挙した事例等はある。」旨の回答があった。
- 委員から「八女警察署管内における薬物関連の事件発生状況を教えてほしい。また、薬物関連の事件の被疑者を検挙する場合、どのようにして検挙に至っているのか」旨の質疑があり、刑事課長から「最近では、大麻所持による検挙が多く、若者がファッション感覚で大麻に手を出しているようである。また、大麻所持で暴力団周辺者を多数検挙している。薬物関連の被疑者の検挙は、警察官の職務質問を端緒として検挙に至ることが多い。」旨の回答があった。
- 委員から「福岡市で行われるG20会議には、八女警察署からも警戒等に従事するのか。派遣するのであれば、八女警察署管内が手薄とにならないようお願いしたい。」旨の質疑と要請があり、警備課長から「当署からも職員を派遣し、期間中の警戒警備に従事するが、当署管内の治安維持に従事する体制は確保している。」旨の回答があった。
- 委員から「ケシの花が都市部などで見つかったという報道を見たが、自生するものなのか。」旨の質疑があり、署長から「報道後、当署管内でも数件の通報を受けた。もし、見かけた場合は、連絡をお願いします。」旨の回答があった。
- 委員から、「息子が街灯のない場所に車両を駐車していたところ、車上ねらいの被害にあったが、車上ねらいの被害に遭いやすい場所や予防方法などについて教えてほしい。」旨の質疑があり、総務課長から「基本的に暗い場所は、車上ねらいに限らず、明るい場所と比べ、周りの目が行き届きにくいため、犯罪が発生する可能性は高くなる。街灯の設置は、道路管理者による設置、防犯灯として地域住民が自治体等からの助成を受けて設置する方法等がある。」、刑事課長から「車上ねらいの予防方法は、車内の見える場所に荷物を置いたままにしないことである。」旨の回答があった。
- 委員から「通勤、帰宅時間帯によく渋滞が発生していた交差点に矢印式信号機が導入されたため、渋滞が改善され、非常にスムーズな通行ができるようになった。」旨の意見があった。

【閉会】

以上をもって会議を終了した。